

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	12-9																																						
PDCA	主要事業名	知多半田駅前再開発ビル商業施設支援事業		部課名	市民経済部産業課	担当 内線	片山 314																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 4 単位施策： 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 7,193 千円 会計 一般会計 歳出科目： 06.01.02.07.57						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																						
	事業概要等	事業概要： 中心市街地の各施設であるクラシティの利用しやすい環境の整備を図るため、駐車場利用補助や商業施設の賑わいづくりの支援を行い利用促進につなげる。クラシティ商業床の地権者であるため、修繕積立金費を負担する。																																											
		事業目的： クラシティ駐車場の利用促進事業（2時間無料）に対する補助に加え、商業床から得られる賃料収入を財源に、クラシティの利用促進につながる取組に対して補助を行うことで、集客力を向上させる。																																											
		事業内容： 知多半田駅前再開発ビル商業施設利用促進補助金、知多半田駅前再開発ビル大規模修繕積立金																																											
		問題点・課題等： 土地区画整理事業により公的サービスなどの都市機能の集積や道路整備が進んだものの、街に活気はなくクラシティにおいても例外ではない。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																											
	7,193 千円	CLACITY 1～2階の所有権の一部をもつ半田市として、施設の活性化は不可欠であるため																																											
	財源内訳	得られる成果																																											
	市費 441 千円	既存店舗の撤退を防ぎ、新たな事業展開による商業施設の賑わいづくり支援に寄与する。																																											
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クラシティの商業施設のテナントの充足率</td> <td>実績値</td> <td>88.0</td> <td>85.0</td> <td>-</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	88.0	85.0	-	%	目標値	100.0	100.0	100.0	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																								
クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	88.0	85.0	-	%																																								
	目標値	100.0	100.0	100.0	%																																								
	実績値																																												
	目標値																																												
その他	実績値																																												
	目標値																																												
県費 0 千円																																													
その他 6,752 千円																																													
D 実績値 得られた成果と	決算額	得られた成果																																											
	8,053 千円	食や書道、健康マージャン等の「教室」を定期的実施したことにより、利用客の定期的来館につながった。また、ホームページのリニューアル及びクラシティ紹介動画を作成し、施設内テナントや定番商品・季節限定商品などの魅力発信を行ったこと、集客を目的としたイベント（R5年度は全国カップラーメンフェス）・地域の催事と連携したイベントを行ったことにより、家族連れなどの幅広い層の来館につながった。																																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クラシティの商業施設のテナントの充足率</td> <td>実績値</td> <td>95.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和5年度	単位	クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	95.0	%	目標値	100.0	%																											
	成果指標		令和5年度	単位																																									
クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	95.0	%																																										
	目標値	100.0	%																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 定期的な教室やイベントの実施、テナントや商品の魅力発信により、商業施設の魅力向上につながっており、年間を通じて利用者が増加している。また、駐車場利用客は、コロナ禍以降年々増加傾向にあり、令和5年度については、前年度よりも大幅に増加した（R5駐車場利用台数：185,338台、前年比17,026台増）。テナントの充足率についても、1階の1区画を除いてテナントが入り、目標値に近づいている。引き続き、来館の仕掛けづくりを支援していき、充足率100%を目指すとともに、現在のテナントの退去を防いでいく。																																											
A 課題の解決に向けた今後	今後の事業の方向性	改善推進 今後の中心市街地活性化の取組を踏まえ、エリアの顔として利用者を増加するための支援を継続実施していく。定期的な来館者の増加のための各種教室の実施、多様な方に来館してもらうためのイベントや、館内テナント及び商品の更なる魅力発信等の利用者増加につながる事業の実施について支援していく。加えて、駐車場利用補助については、駐車場利用者が増加するほどクラシティ側の自己負担額も増加するスキームを令和6年度より見直し、クラシティ側の負担軽減を図っていく。なお、スキームについては、引き続き駐車場利用者の状況を鑑み、検討していく。																																											
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																							
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある	※手段の変更																																								
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地 ない	ない																																								
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																											